

科目 国語表現

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 1・2・5・6 組

教科担当者：地橋 建

使用教科書：（『国語表現』大修館書店

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読	聴					
1 学期	単元1「言葉と出会う」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深める。	・言葉と表記についての基本を学ぶ。 ・整った文を書くための基礎知識を学び、文章を書く。 ・相手に応じた言葉遣いを使い分けられるようにする。 ・文のつなぎ方について学び、長く分かりやすい文章を書く練習をする。	○	○	○	・誤った仮名遣いや送り仮名を正しい表記に修正することができる。 ・常体と敬体の違いを理解し、文末表現を統一させることができる。 ・相手に応じて敬語を適切に使い分けることができる。 ・適切な接続表現を使用し、一定の量の文章を書くことができる。	○	○	○	24	
	定期考査	・既習事項の確認		○	○		○	○		1	
2 学期	単元2「伝える、伝え合う」 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりする。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・自己紹介ゲームや言葉のストレッチ体操などのゲーム等を通して、人と言葉で伝えあうための基礎を学ぶ。 ・ニュース原稿などを書くことで、書いて伝える方法を深める。	○	○	○	・言葉を使用したゲームを通して、コミュニケーション能力を高めることができる。 ・必要な情報を整理し、事実を客観的に伝えることができる。	○	○	○	14	
	単元3「自己PRと面接」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	・自分を見つめなおし、効果的な自己PR方法について考える。 ・将来の自分についての考えを深め、志望理由書を書く練習をする。 ・グループディスカッションや面接の練習をする。	○	○	○	・自己を冷静に見つめ、自分の性格や特徴を長所としてとらえ直すことができる。 ・構成メモをもとに、将来の自分について文章でまとめることができる。 ・質問する側の意図を理解したうえで、面接練習を行うことができる。	○	○	○	14	
	定期考査	・既習事項の確認		○	○		○	○		1	
3 学期	単元4「小論文・レポート入門」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・基礎的な小論文の構成や書き方について学ぶ。 ・反論を想定して書く書き方について学ぶ。 ・課題文型小論文を書くために正確に読み取る練習をするとともに、そこから意見を構成する練習をする。 ・統計資料を読み取って書く練習をする。	○	○	○	・作文と小論文の違いについて正しく理解できている。 ・対立する意見についても考慮し、説得力のある小論文を書くことができる。 ・課題文を適切に要約することができる。 ・統計資料を適切に分析したうえで、小論文を構成することができる。	○	○	○	15	
	定期考査	・既習事項の確認		○	○		○	○		1 合計 70	

国語 科目 文学国語

单位数： 3 单位

4組：山岸) (5組：高杉) (6組：山岸)

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

文学国語 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準		知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読						
1 学 期	単元1『山月記』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『山月記』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『山月記』に示された文体や修辞などの表現上の特色をとらえることができる。 ・『山月記』を読んで、李徴の発言の意図や心情の描写などを的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	単元2「詩歌」 単元3「詩歌の創作演習」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。	・表現上の特徴と言葉の効果を理解し、内容を的確に捉える。 ・描かれている情景や作者の心情を読み取る。 ・詩歌についての基礎的な知識を身に付ける。			○	○	・詩歌の表現上の特徴と言葉の効果を理解し、例示した詩歌の内容を的確に捉えることができる。 ・詩歌に描かれている情景や作者の心情を読み取ることができる。 ・詩歌についての基礎的な知識を身に付け、実践的に詩歌を創作することができる。	○	○	○	10	
	定期考査	・既習事項の確認			○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		1	
	単元4『ひよこの眼』 単元5『神様』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『ひよこの眼』『神様』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『ひよこの眼』『神様』に示された文体や修辞表現上の特色をとらえることができる。 ・2作品を読んで、登場人物の発言の意図や心情の描写などを的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	単元6『ありとさきざりす』 単元7「翻案作品の創作演習」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解して使う。			○	○	・翻案先品の表現上の特徴と言葉の効果を理解し、例示作品の内容を的確に捉えることができる。 ・翻案作品に描かれている情景や作者の意図を読み取ることができる。 ・翻案作品についての基礎的な知識を身に付け、実践的に翻案作品を創作することができる。	○	○	○	10	
	定期考査	・既習事項の確認			○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		1	
2 学 期	単元8『こころ』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『こころ』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『こころ』に示された文体や修辞などの表現上の特色をとらえることができる。 ・『こころ』を読んで「私」や「K」の発言の意図や心情の描写を的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	単元9『捨てない女』 単元10『夏の花』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。			○	○	・『捨てない女』『夏の花』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『捨てない女』『夏の花』に示された文体や修辞表現上の特色をとらえることができる。 ・2作品を読んで、ゴミを捨てない「わたし」の心理を的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	定期考査	・既習事項の確認			○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		1	
	単元11『小説はどう読めばいいのか?』 単元12「短編小説作品の創作演習」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解して使う。			○	○	・小説先品の表現上の特徴と言葉の効果を理解し、例示作品の内容を的確に捉えることができる。 ・例示した作品に描かれている情景や作者の意図を読み取ることができる。 ・小説作品についての基礎的な知識を身に付け、実践的に短編小説作品を創作することができる。	○	○	○	10	
	単元13『ベル・エポック』 単元14『靴』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『ベル・エポック』『靴』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『ベル・エポック』『靴』に示された文体や修辞表現上の特色をとらえることができる。 ・2作品を読んで、登場人物の発言の意図や心情の描写などを的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	定期考査	・既習事項の確認			○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		1	
3 学 期	単元15『舞姫』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『舞姫』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『舞姫』に示された文体や修辞などの表現上の特色をとらえることができる。 ・『舞姫』を読んで、「太田豊太郎」の「エリス」に対する心理の変化をとらえることができる。	○	○	○	10	
	単元16『檸檬』 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。	○		○		・『檸檬』に示された語句の意味、用法を的確に理解することができる。 ・『檸檬』に示された文体や修辞などの表現上の特色をとらえることができる。 ・『檸檬』を読んで、「檸檬」に仮託した「私」の心理を的確にとらえることができる。	○	○	○	10	
	定期考査	・既習事項の確認			○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		1	
合計												

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典基礎

教 科： 国語 科 目： 古典基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1組：南塚 ） （2組：南塚 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 新しい古典文法、新しい古典文法演習ノート、グランステップ古典、核心古文単語351 ）

教科 国語 の目標：
【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典基礎 の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】				
古文の読解に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		古文特有の世界観に触れ、古人の想いに深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、古文世界の文化や言葉遣いに興味を持ち、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	【新しい古典文法】古典文法入門、動詞の活用、係り結び 【グランステップ】古本説話集、宇治拾遺物語、今昔物語集	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・動詞、係り結びに関する文法項目を正確に理解する。	○	○	○	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	10
	確認テスト	・確認テストにおいて知識の定着度を図る。	○	○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		2
	【新しい古典文法】動詞の活用、形容詞、形容動詞 【グランステップ】今昔物語集、伊曾保物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・用言に関する文法項目を正確に理解する。	○	○	○	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査	・定期考査において知識の定着度を図る。		○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		2
2 学 期	【新しい古典文法】助動詞 【グランステップ】更級日記、徒然草、平家物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・助動詞に関する文法項目を正確に理解する。	○	○	○	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	12
	【新しい古典文法】動詞の活用、形容詞、形容動詞 【グランステップ】今昔物語集、伊曾保物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・助動詞に関する文法項目を正確に理解する。	○	○	○	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査	・定期考査において知識の定着度を図る。		○	○	・既習内容を正確に理解することができる。	○	○		2
	【新しい古典文法】漢文文法【グランステップ】漢文入門、白紙文集、史記	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・漢文における文法項目を正確に把握する。	○	○	○	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	14